# 大間 · 函館航路活性化協議会 平成2 1年5月11日設置

# 概要

大間・函館航路は、本州〜北海道間の動脈であり、生活航路として下北地域の住民の生活を支えてきたが、従来運航していた東日本フェリー㈱が平成20年11月末に同航路より撤退したため、道南自動車フェリー㈱が1年間の暫定的な継続運航を実施している。

本調査では、大間・函館航路の持続可能な運航形態等の具体的検討を行うとともに、下北地域と函館(北海道)間をフェリーで周遊する観光客を増加させる方策等の策定に向け、調査検討を行うものである。



### 〇地域公共交通の現況

- ・現状は1年間の暫定運航中(平成21年12月末まで)
- ・道南自動車フェリー㈱が1日4便(ピーク時6便)運航
- ・乗用車、トラック、旅客等の利用が減少傾向にある

#### 〇地域公共交通の課題

- 暫定運航後の航路継続
- ・船舶「ばあゆ」の老朽化への対応

## 〇調査の主な内容

- ・旅客アンケート調査及びヒアリング調査
- ・運送事業者等へのヒアリング調査
- ・旅行会社や荷主等のヒアリング調査
- 船舶分科会と観光分科会での関係者による討議

#### 〇地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・持続的な運航形態(新造船の対応含)の検討
- ·観光客等の需要予測
- 函館・下北地域の観光資源の連携による活性化策検討
- •利用者を確保する利便性向上策の検討

